

2. 令和7年度予算のポイント

一般会計予算は314億9,200万円、前年度比6億9,600万円(2.3%)増

令和7年度の龍ヶ崎市一般会計予算は、歳入では、基幹収入である市税は、令和6年度の実績や賃金上昇を背景に、個人住民税所得割の増など、市税全体で9億1,047万円の大幅な増収を見込んでいる一方で、地方特例交付金は、定額減税の終了により、3億3,391万円の減となっています。地方交付税については、令和6年度算定を基準に地方財政対策等を考慮し、前年度と同程度を確保しています。

歳出は、人事院勧告を反映した給与改定の影響により人件費が大幅に増加するほか、児童手当の拡充などによる扶助費の伸び、賃金上昇や物価高騰による物件費の増などにより、経常経費が増加しています。普通建設事業は、北竜台学園施設整備事業や新長戸コミュニティセンター建設事業が大きなシェアを占めています。

収支ギャップは、令和6年度と同額の6億円と高止まりしています。これを、財政調整基金の繰入で対応しますが、予算執行における収支改善が課題となります。

令和7年度は、全ての団塊の世代が75歳以上となる、いわゆる「2025年問題」の年を迎えます。今後、介護保険事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計の急速な規模拡大と、これに伴う、一般会計からの繰入金の急増が懸念されるところです。

また、児童発達支援事業特別会計では、中核的な支援機関である児童発達支援センターとして「こども発達センターつばみ園」の機能の充実を図っています。

新規 拡充

リーディングプロジェクト Leading 未来創造 Project

未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～

新規	さんさん館休日運営の充実(土曜日午前中の開館を毎週に拡充)	- 万円
拡充	リフレッシュ保育の充実(さんさん館に加え、駅前こどもステーションでもサービスを開始)	2,619万円
拡充	たつのこワクワクワーク事業(こども向け職場体験イベントの種類を拡充)	472万円 ◎
新規	高校生の探究活動を支援(探究テーマを深める活動や自主的なまちづくり活動に対する補助)	25万円
拡充	こども発達センターつばみ園の相談・支援体制を充実(作業療法士等を増員)	970万円
新規	小児医療オンライン相談サービスの開始(0歳～15歳までのお子さんの相談に対応)	333万円 ◆
新規	STEAM教育の推進(プログラミングやAIを活用した教科横断的な学びを実施)	63万円
北竜台学園施設整備事業 ※3か年継続事業(総額45億1,113万円)R9年4月開校		25億9,299万円 ◆
新規	中学校3年生給食費の無償化(保護者の経済的負担を軽減し、新生活への準備を後押し)	3,037万円 ◆
関連	小中学校全学年を対象に食材費高騰分を市で負担(6,539万円)、第3子以降の給食費無償化を継続(1,076万円)	

リーディングプロジェクト Leading 魅力創造 Project

魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

新規	スポーツクライミングのまち龍ヶ崎の推進(トップクライマーが身近に存在する環境を活用したまちづくり)	4,007万円 ◆
	プロスポーツチームとの連携(イベントや観戦ツアー開催・応援グッズを配布)	184万円 ◎
新規	地域ブランディングの推進(「龍」をシンボルとしたブランディング戦略を推進)	450万円 ◎

◎は「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を」
◆は、4頁以降、事業の内容と財源の内訳について、ご紹介します。

物価高騰の影響、北竜台学園施設整備事業の本格化で予算規模拡大

会計別予算の状況		令和7年度	令和6年度	比較	増減率
一般会計		314億9,200万円	307億9,600万円	6億9,600万円	2.3%
特別会計	国民健康保険事業	68億6,700万円	71億7,400万円	△3億700万円	△4.3%
	介護保険事業	64億8,900万円	64億800万円	8,100万円	1.3%
	児童発達支援事業	1億2,930万円	1億250万円	2,680万円	26.1%
	後期高齢者医療事業	22億1,400万円	20億3,300万円	1億8,100万円	8.9%
	特別会計合計	156億9,930万円	157億1,750万円	△1,820万円	△0.1%
総計		471億9,130万円	465億1,350万円	6億7,780万円	1.5%
下水道事業会計		35億3,535万円	37億9,899万円	△2億6,364万円	△6.9%

リーディングプロジェクト
Leading 幸せ創造 Project

幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

-  保健福祉棟に多世代交流センター「RINK」をオープン(官民連携で多様なコンテンツを提供) 2,593万円
-  AIオンデマンド交通の本格運行(コミュニティバス枝線の代替手段手段として東部地域で運行) 3,864万円 
-  移動スーパー等買い物支援の充実(移動販売等事業者に移動販売に係る費用の一部を補助) 200万円

防災・減災対策の推進

-  避難所衛生環境改善事業(トイレトラック、水循環型シャワー・テントセットを配備)(R6前倒し事業) 8,240万円
-  災害対応ドローンの配備(災害発生時の状況把握・市民への情報発信を迅速化) 868万円 
-  気象防災アドバイザー連携強化事業(気象情報把握システム導入でリアルタイムに情報を把握) 224万円
-  水防災意識向上推進事業(電柱等への想定浸水深表示板設置・県管理河川ハザードマップ作成) 510万円

その他の主な事業

-  がん患者の療養生活をサポート(ウィッグ・乳房補整具等の購入及びレンタル費用の一部を助成) 54万円
- プレミアム付商品券の発行(プレミアム率20%) 5,000万円
-  病害虫防除対策事業(農業生産者へジャンボタニシ防除費用の一部を補助) 135万円 

公共施設再編成の取組・インフラの新設等

- 新長戸コミュニティセンター建設事業 ※2か年継続事業(総額4億7,251万円) 3億5,166万円
- 市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業(R6前倒し2億5,018万円) 3億3,022万円

担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。